

⑧ ひろしま おうとうざん
広島 王頭山312m(塩飽諸島 最高峰) 2014年12月23日



【 広島 】面積:11.66km² 周囲:18.5km 最高点:王頭山312m
人口:216人(H27) 学校:休校中 飲食店:なし 商店:1軒(その日獲れた魚
がおいてあることもあります) 宿:なし 公衆トイレ:6か所
丸亀からフェリーで約40分、高速艇で約20分
島内交通……レンタサイクル:500円、コミュニティバス:1回200円

広島は塩飽諸島の中で一番広い島です。最高地点の王頭山は別名『しわく富士』とも呼ばれているそうです。島の外周道には、「いろは…」を頭文字にした金言を刻んだ石碑があり、すべて巡ると島一周ができます。以前はトライアスロンが開催されていましたが現在はありません。毎年11月には、『いろはウォーク』が開催されています。石碑は、広島特産の青木石(良質の花こう岩)で造られています。あちらこちらに巨岩を目にする広島はまさに石の島です。島好き・山好きにも楽しめる高度はそこそでも陰しさとう美しい景色が堪能できます。

この島では、猫はもちろん思いがけないところでヤギに出会えます。

【レキの墓】

慶応2年(1866年)、瀬戸内海を調査中の英国測量船セルビア号の船上(広島沖合)で病死した英国士官レキの墓です。明治29年(1896)にセルビア号が再び広島に寄港したおり、船長から島の人たちに感謝状が送られたそうです。島の人たちの手によって守られてきています。

【広島 王頭山312m(塩飽諸島 最高峰) 山行記録】

丸亀港待合所に集合し、(7:40)広島汽船乗り場から出発。乗船し席に座っていると船員さんが運賃 570 円を徴収しに来ました。窓からは太陽の日差しとともに本島、牛島、その向こうの瀬戸大橋が綺麗に見えましたが、船は激しく揺れて酔いそうでした。

(8:00)広島、江の浦港到着。江の浦海水浴場沿いの舗装道路を歩きます。天気も良く、綺麗な青空の前には目指す王頭山が見えます。

(8:15)旧広島小中学校が見えたら手前の道を右に曲がり茂浦方面へ。3 分ほど歩くと“一隅を照らすこれ則ち国宝なり”と書かれた大きい石碑がありました。「いろは石の島」といって、い、ろ、は…を頭文字に青木石を使った石碑が45基あり全部巡ると広島を周遊できるようです。その石碑を目印に左に曲がり、



(8:20)旧広島中学校の裏手にある英国士官レキの墓へ。

(8:30)つばきの花やこぶしの花が咲いている民家の横をとおり、王頭山登山口へ。まずはコンクリートの竹藪道を進みます。途中から土道となりましたが、枯葉を踏みしめながら、滑りやすく歩きにくかったです。登山口から30mの高さのところでは少し視野が開け、振り返ると先ほど通ってきた海水浴場や港が見えました。

(8:45)休憩。暑くなりそれぞれ着ていたダウンやフリースなど脱ぎました。半袖になっている者も 2 名いました。ロープが張ってある急なところを登ったり、花崗岩をよじ登ったり、

砂利地の道や、藪漕ぎならぬシダの葉漕ぎの道など私たちを飽きさせません。道は整備されていて、ところどころに青木石でできた標識、山頂まで〇〇m と距離が書かれてあります。「←展望所、→頂上」の標識がある別れ道があり、まずは展望所の方へ。

(9:30)展望所到着。晴れていたこともあり、きら



江ノ浦港方向の眺望

きら光る水面の瀬戸内の海が綺麗です。視野をさらに広げると島々や、青野山、飯野山が綺麗に見えます。標識の分かれ道まで戻り今度は頂上の方の道へ

(9:37)頂上到着。集合写真を撮り、

(9:45)天然の石庭、王頭砂漠へ。砂地が広がり、丸い巨岩の造形が美しいです。休憩しながらレーションをとります。

(10:00)エネルギーを補給したところで、出発

(10:15)ロープワークの練習に最適な場所があったので約 1 時間 40 程練習をしました。

(11:50)充実した練習が出来た後は見晴の良い所で昼ごはん。

(12:15)下山開始、(12:35)登山口到着、(12:55) 江の浦港到着。

(13:05)待合所で切符を購入し、船を待つ間反省会、(13:40)船出航、

(14:00)丸亀港到着、解散。



巨岩が点在する王頭砂漠